

令和7年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	13	議席 番号	11	氏名	岩 村 恵 美 議員	1 / 2
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	第6次富士宮市健康増進計画、第4次富士宮市食育推進計画の策定により、具体的に食育をどのように関係機関等と連携し、推進していくのか			平成16年から「フードバレー構想」を掲げ、富士宮市フードバレー推進協議会が発足し、様々な取組がなされてきた。構想から実践へ具体的に進めていくとあるが、富士宮市の豊かな食資源の活用と、食によるまちづくりの可能性と有機農産物及び食育の重要性をどのように進めていくのか、以下伺う。 (1) 食育に関する教育の現状について、保育園、小学校、中学校における食育の重点的な学習内容はどのようなものか。また、試験的に取り組んでいる、保育園の有機農産物活用の進捗状況はどうか。 (2) 「地食健身」のコンセプトに基づき、乳幼児期から高齢期まで、各ライフステージに応じた食育を切れ目なく実施するための具体的な施策や、関係部署（健康増進課、高齢介護支援課など）間の連携体制はどのようなになっているのか。 (3) 市民が日常的に地元食材を活用できるようなレシピの開発は行っているか。 (4) 食育ボランティアと連携した料理教室を開催しているか。また、食育ボランティアと連携した企画の今後の展開をどのように考えているか。 (5) 「富士宮やきそば」のような成功事例にとどまらず、地元特産品（米、乳製品、豚肉、牛肉、イチゴ、野菜）や有機農産物を活用した新たなブランド開発と、その過程での市民参加型イベントや食育活動の連携について、どのように考えているか。 (6) フードバレー構想の情報発信拠点として、観光客だけでなく市民も対象とした実践的な食文化につなげ、本市の食文化の魅力を発信する考えはないか。		市長 副市長 教育長 関係部長
2	こどものスマートフォンやタブレット端末による課金問題と金融リテラシー教育の推進について			近年、スマートフォンやタブレット端末が子どもたちの間にも広く普及し、便利な情報ツールやコミュニケーション手段として定着している。一方で、オンラインゲーム内でのアイテム購入など、保護者の同意のない高額課金トラブルが深刻な社会問題となっている。子どもたちが金銭トラブルに巻き込まれないよう、これまで以上にお金に関する適切な知識や判断力を身につける、すなわち金融リテラシーの向上が喫緊の課題である。本市における子どもたちの金融リテラシーに対する現状認識と、未来を担う彼らが自立した生活を送るための取組について以下伺う。 (1) 本市におけるこどものスマートフォンゲーム利用状況と、それに伴う課金トラブルに関する市の認識について伺う。また、具体的な相談件数や事例があるのか伺う。 (2) 現状のトラブルに対し、市はどのような相談窓口や対応策を講じているのか。また、保護者への周知啓発はどのように行われているのか。 (3) 小中学校において具体的にどのような内容の金融教育が行われているのか。特にオンラインゲームの課金トラブル等を想定した実践的な教育は行われているのか。		市長 副市長 教育長 関係部長

令和 7 年 1 1 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1 3	議席 番号	1 1	氏名	岩 村 恵 美 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
		(4) こどもたちの課金問題や金融リテラシーの向上には、学校だけでなく、家庭や地域、行政が一体となった取組が不可欠である。本市における関係機関（消費生活センター、学校、P T A、地域団体）との連携体制や今後の具体的な連携強化策について伺う。				